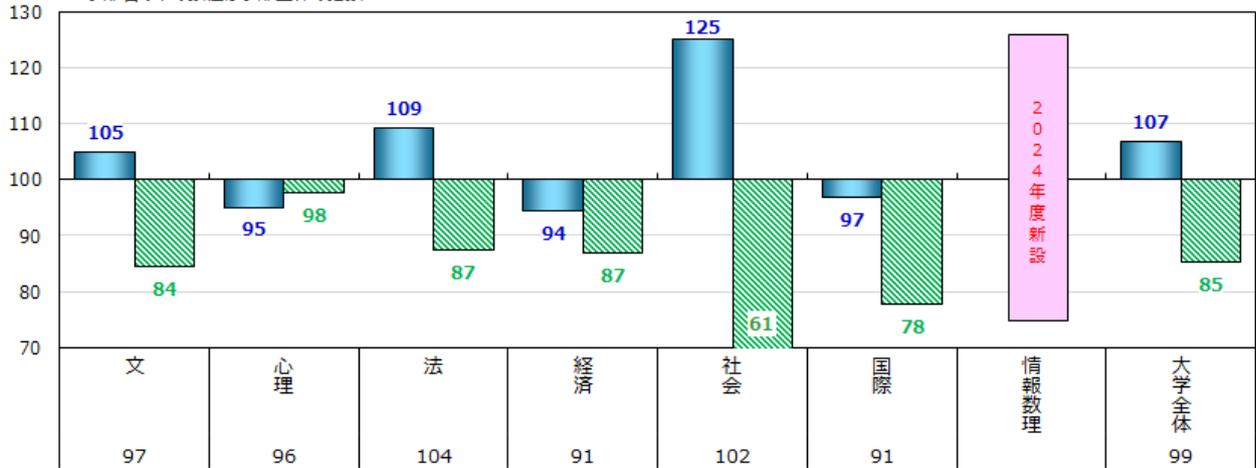


明治学院大：大学全体では前年度並だが、共テは大幅減少

一般：+1,037人 共テ：-1,185人

※前年度の志願者数を100とする指数  
※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

学部新設：情報数理(情報数理)…入学定員 80 人 ※横浜キャンパス  
方式変更：社会<一般・A 日程(英語得点換算方式)>…出願資格方式→得点換算方式  
選抜方法：文(英文)<一般・A 日程(英語得点換算方式)>  
…個別試験の英語の受験は必須→個別試験の英語の受験は任意  
※外(英語)の受験が必須から任意へ  
入試科目：経済(経営、国際経営)<一般・全学部(3教科型、英語出願資格方式)>、<A 日程>  
…国+外+(歴公 or 数) ※歴公：世 B or 日 B or 政経  
→国+外+(歴公 or 数) ※歴公：世 B or 日 B or 地理 B or 政経  
※選択に地理 B 追加

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度大幅増加の反動はなく 148 人(99)の前年度並。なお、新設の情報処理を除くと指数(97)のやや減少。学部別では、新設の1学部を除く6学部中4学部が減少。経済(91)、国際(91)はいずれも3年連続増加の反動で減少。方式別では、一般方式は1,037人(107)の増加で2年連続やや増加。共通テスト利用方式は前年度大幅増加の反動で1,185人(85)の大幅減少。共通テスト受験前に出願締め切りとなる<共テ・前期>(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、共通テスト受験後に出願可能な<共テ・後期>(137)は大幅増加と対照的。

<一般方式>

- 文(105)は、やや増加で3年連続増加。学科別では、(フランス文)(142)は前年度減少の反動で大幅増加、(英文)(101)は前年度増加の反動はなく前年度並。一方で、(芸術)(90)は2年連続減少。
- 心理(95)は、やや減少で3年ぶりに減少。学科別では、(教育発達)(107)は前年度大幅増加に引き続きやや増加で、志願者数は5年ぶりに800人を上回った。一方で、(心理)(88)は2年連続減少。
- 法(109)は、増加。志願者数は、4年ぶりに3,000人を上回った。学科別では、(グローバル法)(133)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(政治)(119)は大幅増加で2年連続増加、(消費情報環境法)(110)は2年連続増加。一方で、(法律)(98)は微減だが3年連続減少。
- 経済(94)は、3年連続増加の反動は小さくやや減少。学科別では、(国際経営)(88)は前年度4年連続減少の反動で大幅増加したが再び減少。(経済)(91)は2年連続増加の反動で減少。一方で、(経営)(101)は微増だが2年連続増加。
- 社会(125)は、2年連続大幅増加。志願者数は5年ぶりに3,000人を上回った。学科別では、(社会福祉)(107)はやや増加で2年連続増加。志願者数は2,500人を上回った。(社会福祉)(107)はやや増加で2年連続増加。
- 国際(97)は、2年連続やや減少。学科別では、(国際)(92)は2年連続減少。一方で、(国際キャリア)(122)は2年連続大幅減少の反動で45人の増加。
- 新設の情報数理は、募集人員48人、志願者351人で、志願倍率は7.3倍。大学全体の一般方式の志願倍率10.3倍を下回った。

<共通テスト利用方式>

- 文(84)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(フランス文)(231)は前年度半減以下の反動で約2.3倍増、2017年度以降は極端な増減が継続。一方で、(芸術)(59)は前年度激増の反動で大幅減少、(英文)(77)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、<共テ・前期>(84)は大幅減少、<共テ・後期>(114)は増加。
- 心理(98)は、<共テ・前期>のみの募集だが、前年度大幅増加の反動はなく23人の微減で前年度並。学科別では、(教育発達)(127)は2年連続大幅増加。一方で、(心理)(89)は2年連続増加の反動で減少。
- 法(87)は、<共テ・前期>のみの募集だが、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、(消費情報環境法)(189)は激増で、2018年度以降は前年度の反動による極端な増減が継続。一方で、(法律)(66)、(政治)(78)はいずれも前年度激増の反動で大幅減少。
- 経済(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、(国際経営)(149)は2年連続減少の反動でほぼ1.5倍増、(経営)(132)は4年連続大幅増加。一方で、(経済)(47)は前年度ほぼ2.5倍増の反動で半減以下。方式別では、<共テ・前期>(85)は前年度激増の反動で大幅減少、一方で、<共テ・後期>(134)は大幅増加。
- 社会(61)は、前年度3.2倍増の反動で大幅減少、2019年度以降は前年度の反動による極端な増減が継続。学科別では、(社会福

社)(28)は前年度ほぼ 4.9 倍増だった反動で 70%以上の激減。(社会)(83)は前年度 2.6 倍増の反動で大幅減少。方式別では、<共テ・前期>(58)は前年度約 3.6 倍増の反動で大幅減少。一方で、<共テ・後期>(172)は約 1.7 倍増。

○**国際(78)**は、<共テ・前期>のみの募集だが、前年度激増の反動で大幅減少、前年度の反動による増減が継続。

○新設の**情報処理**は、募集人員 20 人、志願者 237 人で、志願倍率は 11.9 倍。大学全体の共通テスト利用方式の志願倍率 21.3 倍を下回った。